

新型コロナウイルス感染症対策に係る
国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルは、**国分科会ステージ4（レベル5 厳戒警報）**とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし 感染者数
5月6日(木)～5月12日(水)	703名	361名

2 国分科会ステージ及び熊本県リスクレベルについて

前回（5月7日発表）	今回（5月14日発表）
国分科会ステージ3 （レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は熊本市において 拡大傾向が見られる。	国分科会ステージ4 （レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は拡大傾向が見られる。

3 県民の皆様へのお願い

県内の感染状況は、熊本市において特に感染が拡大しています。感染者数が非常に多いのみならず、感染経路不明者がこれまでになく増加しており、中心市街地飲食店関連の感染が引き続き確認されている状況からも、今後、更なる増加が懸念され、非常に厳しい状況にあります。また、熊本市近郊においては、熊本市からの波及を受け、感染者が増加しており、これらを抑え込む必要があります。

先週から開始した「熊本蔓延防止宣言」による対策として、5月10日から熊本市全域における酒類提供飲食店への午後8時までの営業時間短縮要請を開始しました。しかし、現状では感染者数の減少に至っておらず、感染は拡大しステージ4に達しており、まん延防止等重点措置の適用も受ける見込みです。よって、県全域について対策を強化するとともに、熊本市において重点的な強化を行うこととします。

県民及び事業者の皆様には、最大限の危機感を持って、要請を遵守していただくようお願いいたします。また、引き続き、マスク着用、こまめな手洗い、症状がある場合は仕事を休み、すぐに受診することをはじめとし、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）5月14日】

1 熊本県における現状認識

国内の感染拡大傾向は継続しており、現在、8道県にまん延防止等重点措置、6都府県に緊急事態宣言が適用されているが、大半の自治体においては明確な減少に至っていない。5月14日には、本県を含む3県にまん延防止等重点措置、3道県に緊急事態宣言が適用される見込みである。

九州は、福岡県を中心に北部で顕著に感染が拡大しており、各自治体でこれまで最多の感染者数が確認されている。福岡県においては5月12日から緊急事態宣言の実施区域とされたほか、感染が増加している各自治体で独自の対策強化が進められている。

本県においても感染拡大が著しく、5月6日から5月12日までの感染者は703人（リンク不明感染者数は361人）、病床使用率は5月12日時点で49.3%、重症病床使用率は33.9%となった。また、療養者数は771人、検査陽性率が19.0%と、国分科会の指標はステージ4の水準に達しており、総合的に現状はステージ4の状況にあると判断する。なお、リスクレベルはレベル5厳戒警報を維持する。こうした状況にあることから、5月10日に国に対し、まん延防止等重点措置の適用について要請を行った。

感染の態様として、熊本市において特に感染が拡大している。感染者数が非常に多いのみならず、感染経路不明者がこれまでになく増加しており、中心市街地飲食店関連の感染が引き続き確認されている状況からも、今後、更なる増加が懸念され、非常に厳しい状況にある。また、熊本市近郊においては、熊本市からの波及を受け、感染者が増加しており、これらを抑え込む必要がある。

先週から開始した「熊本蔓延防止宣言」による対策として、5月10日から熊本市全域における酒類提供飲食店への午後8時までの営業時間短縮要請を開始した。人流については一定の減少が見られているが、現状では感染者数の減少に至っていない。今般、まん延防止等重点措置が適用される見込みであることから、県全域について対策を強化するとともに、熊本市においては、重点的な強化を行うこととする。

県民及び事業者の皆様には、最大限の危機感を持って、要請を遵守していただくようお願いする。また、引き続き、マスク着用、こまめな手洗い、症状がある場合は仕事を休み、すぐに受診することをはじめとし、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

前回（5/7発表）	今回（5/14発表）
国分科会ステージ3（レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は熊本市において拡大傾向が見られる。	国分科会ステージ4（レベル5 厳戒警報） なお、感染状況は拡大傾向が見られる。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (5月13日現在)

- 国内の感染拡大傾向は継続しており、現在、8道県にまん延防止等重点措置、6都府県に緊急事態宣言が適用されているが、大半の自治体においては明確な減少に至っていない。
- 九州は、福岡県を中心に北部で顕著に感染が拡大しており、各自治体でこれまで最多の感染者数が確認されている。福岡県においては5月12日から緊急事態宣言の実施区域とされたほか、感染が増加している各自治体で独自の対策強化が進められている。
- 熊本県においても感染拡大が著しく、5月6日から5月12日までの感染者は703人（リンク不明感染者数は361人）、病床使用率は5月12日時点で49.3%、重症病床使用率は33.9%となった。また、療養者数は771人、検査陽性率が19.0%と、国分科会の指標はステージ4の水準に達しており、総合的に現状はステージ4の状況にあると判断し、リスクレベルはレベル5厳戒警報を維持することが妥当である。
- 先週、連休後に感染が拡大する可能性について言及したが、現在の感染状況は拡大に向かっていないと判断せざるを得ない。
- 5月10日から熊本市全域への酒類提供飲食店への営業時間短縮要請を開始されており、その効果は今後明確になると考えられるが、リンク無し感染者の増加や変異株が9割を占める状況から考えると、現状としてはウイルスの拡大の勢いが強い状況である。
- この状態が継続すると、第3波で経験したように、熊本市における感染拡大の県全域への波及や、高齢者施設等でのクラスター続発が起こる可能性があり、そうした場合には一気に医療提供体制の逼迫が進行することが懸念される。
- 県においては、国のまん延防止等重点措置が適用される見込みとのだが、適切に県全域における感染防止対策の強化及び熊本市における重点的措置の強化を図っていただきたい。特に、熊本市においてリンク不明者の急増が起こっている状況から、県・熊本市で連携し、人流をさらに抑え込む対策を強化する必要があると考えられる。
- 感染の拡大は九州全域で確認されており、特に福岡県で顕著であるため、感染の封じ込めについては、福岡県の対策と一定の調和を取って強化することが効果的と考えられる。
- 県民・事業者の皆様におかれては、行政からの要請を遵守しつつ、お一人お一人のマスク着用、こまめな手洗い、症状がある場合は仕事を休み、すぐに受診することをはじめとした、基本的な感染防止対策の徹底が非常に重要である。

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			早期探知指標
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③PCR陽性率	④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合	新規陽性者数の前週今週比 今週先週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
	入院医療		重症者用病床					
	確保病床使用率	入院率※	確保病床使用率	週移動平均	週合計	直近一週間		
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階							
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階							
5月12日	49.3%	31.9%	33.9%	771人	19.0%	703人	361人(51.4%)	2.45
5月5日	42.4%	42.3%	27.1%	504人	11.5%*	287人*	97人(33.8%)*	0.85*
4月28日	40.2%	48.4%	15.3%	419人	11.0%	337人	111人(32.9%)	1.81
4月21日	22.0%	63.1%	5.1%	176人	8.5%	186人	55人(29.6%)	4.77
4月14日	6.9%	—	5.1%	42人	7.2%	39人	16人(41.0%)	1.77
4月7日	5.5%	—	3.4%	30人	5.0%	22人	4人(18.2%)	1.69
3月31日	4.2%	—	3.4%	25人	3.4%	13人	4人(30.8%)	1.00

※...療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用

* 事例の取り下げに伴い修正

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床使用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発/連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

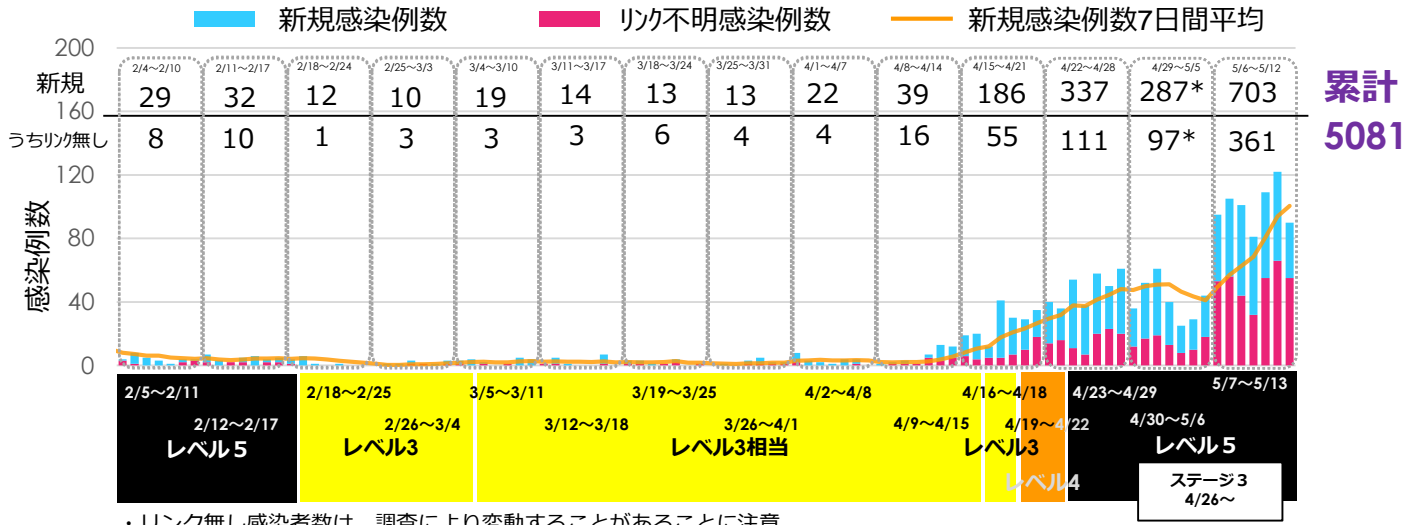
※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した6指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（2/4~5/12）：確定日ベース】



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意
 ・木曜日～翌水曜日までの陽性者数を集計

* 事例の取り下げに伴い修正

【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	5/6~5/12		保健所名	これまで	5/6~5/12	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	2332	483	65.4	宇城保健所	189	32	30.8
有明保健所	479	38	24.4	八代保健所	214	16	11.8
山鹿保健所	182	7	14.0	水俣保健所	142	5	11.2
菊池保健所	350	55	29.7	人吉保健所	97	11	13.1
阿蘇保健所	81	16	26.5	天草保健所	61	6	5.5
御船保健所	251	34	41.6	計	4378	703	40.2

※…各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用